



日立マイクロコンピュータシステム HMCS 6800 トレーニングモジュール H68/TR

コマンドテーブル

機 能	コマン
プログラム実行	G
入力装置指定	I
オーディオカセットの リモートコントロール解除	J
プログラムロード	L
メモリ表示・変更	M
1 命令トレース	N
出力装置指定	O
プログラムパンチ	P
レジスタ表示・変更	R
アセンブラ	S
ブレークポイント解除	U
ブレークポイント設定・表示	V
テキストのロード	A
ポインタ移動 (先頭へ)	B
テキストの入替	C
テキストの挿入	I
テキストの削除	K
ポインタ移動 (行単位)	L
テキストのパンチ	P
テキストの表示	T
モニタへ復帰	X
ポインタ移動 (最後へ)	Z

けい光表示管表示パターン

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
W	X	Y	Z	CT	#	,	\$	/	SF	SP	CR	LF	CE	=	:
.	-	\	<	>	()	[]	▼	%	@	&	?	!	+
-	*	.	→	←	↓	↑	注. CR CE ↑ キーは、モニタ・アセンブラ・テキストエディタ・ 逆アセンブラの管理下では表示しません。 またモニタ管理下では、16進数字以外の文字記号は表示しません。								

アセンブラ・エラーメッセージ

エラーメッセージ	エ ラ ー の 内 容
E 0	ラベルに \$ 8000 以上の数値を割当てた
E 1	アセンブリ制御命令が不適当
E 2	ラベルが不適当
E 3	オペレータフィールドの記述に誤りがある
E 4	ラベルの二重定義
E 5	バイトオーバーフロー (ブランチ命令のオペランドが1バイトを越す)
E 6	オペランドが不適当
E 7	メモリが実装されていないためオブジェクトを格納不能
E 8	複数のブランチ命令が255バイト以上離れて同一の末 定義ラベルをブランチ先とした
E 9	ステートメントが14桁をオーバー

注. EBはテキストエディタ・
エラーメッセージの欄を
参照してください。

テキストエディタ・エラーメッセージ

エラーメッセージ	エ ラ ー の 内 容
E B	ブロック番号指定不適当
E C	コマンドエラー
E W	バッファへ書込み不能

アセンブリ制御命令

命令	名 称	機 能	ラベル 付 加	オ ペ ラ ン ド
END	END of program	ソースプログラムの終りを示す。	不可	不可
EQU	EQUate symbol	ラベルに数値を割当てる。	必須	10進数、16進数、ラベル
FCB	Form Constant Byte	オペランドの値を8bitの符号なし2進数に変換	任意	10進数、16進数、ラベル
ORG	ORiGin	以後のソースプログラムの機械語が格納される番地を指定	不可	10進数、16進数、ラベル
RMB	Reserve Memory Bytes	オペランド値の大きさ(バイト単位)の領域をメモリ中に確保	任意	10進数、16進数、ラベル